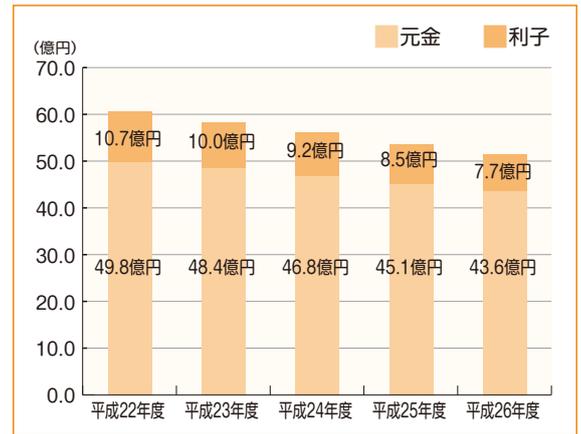


平成26年度は1億1,150万円の 企業債を発行

—企業債の状況—

市は、安定的に水道水をお届けするため、管路の更新や耐震化などの整備を行っています。企業債は、これらの建設改良に伴う資金が必要なとき、その財源として発行を認められるものです。

平成26年度は、1億1,150万円の企業債を発行しました。また、これまでに借り入れた企業債の元金2億6,424万円と利子9,640万円、合計3億6,064万円を支払いました。



▲企業債の状況（各年度末残高）



給水量は減少傾向

—給水量と給水戸数の状況—

平成26年度末の行政区内人口5万255人に対し、給水人口が4万9,504人で、水道普及率が98.51%となり、市内のほとんどの家庭に水道水を供給していることとなります。

水道の使用区分は、家事用・家事用以外・公衆浴場用・臨時用と4つの用途に分かれています。

家事用は、給水戸数が前年度に比べ増加していますが、給水量は前年度に比べ減少しました。家事用以外は、給水戸数、給水量ともに減少傾向が続いています。給水量の推移としては、増加している年度もありますが、全体的には家事用、家事用以外ともに減少している傾向にあります。

用途別給水戸数及び給水量

用途区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	給水戸数(戸)	年間給水量(m)								
家事用	20,825	3,431,644	20,990	3,369,339	21,028	3,360,165	20,964	3,307,705	20,988	3,238,823
家事用以外	1,216	803,091	1,211	758,918	1,217	752,216	1,201	761,127	1,200	706,600
公衆浴場用	2	5,986	2	4,479	1	0	1	0	1	0
臨時用	44	1,163	41	382	48	1,136	42	3,038	48	707
合計	22,087	4,241,884	22,244	4,133,118	22,294	4,113,517	22,208	4,071,870	22,237	3,946,130
1日平均給水量	11,622m ³		11,293m ³		11,270m ³		11,156m ³		10,811m ³	